

## 事前評価個表

整理番号	25
------	----

地域（地区）名	おおいたせいぶ 大分 西部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	大分県	対象市町村	ひたし 日田市 ほか2町
事業実施期間	R5年度～R9年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、大分県の西部に位置し、九州の尾根の一角にあたる湧蓋山、星生山、福万山、岳滅鬼山、釈迦岳、尾ノ岳等の標高1,000～1,700m級の山系によって周囲を囲まれている1市1郡（2町）を包括する地区である。</p> <p>本地区の総面積は122,391haであり、このうち民有林森林面積は88,163ha（民有林率72%）となっており、スギ・ヒノキを主体とした人工林面積は59,616ha（人工林率68%）である。</p> <p>本地区内の路網整備の状況は、林道延長379km（密度4.30m/ha）、森林作業道1,752km（密度19.88m/ha）が整備されており、県平均路網密度の林道4.84m/ha、作業道15.03m/haに対して、林道は県平均より低いが、森林作業道においては県平均を上回っている。</p> <p>本地区の齢級構成は、8齢級を超える森林が66%となっており、利用期を迎えた森林が充実していることから、主伐及び利用間伐といった資源の循環利用を促進し、また、主伐後の再造林や下刈等の保育を確実に行うことで、水源涵養機能等の公益的機能の維持増進を図る必要がある。</p> <p>本事業では、大分西部地域森林環境保全整備事業計画に基づき、森林施業の集約化や伐採と造林の一貫作業などによる効率化を図りつつ、間伐や再造林等の森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：10,073ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>総事業費：5,031,652千円（税抜き4,574,229千円）</p>
費用便益分析結果	<p><math>B/C=5.21</math></p> <p>（総便益（B）=35,139,178千円、総費用（C）=6,749,429千円）</p>
評価結果	<p><b>必要性：</b>地域材の利用促進と森林の公益的機能の維持増進のためには、主伐後の確実な再造林や、その後の下刈等の保育が不可欠であり、森林資源の循環利用の観点からも、事業の必要性が認められる。</p> <p><b>効率性：</b>費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、施業地の集約化や生産コストの縮減を図りつつ計画的な森林整備を実施することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p><b>有効性：</b>地域の特性、森林資源の現状並びに自然条件や社会的要請等を総合的に勘案した事業の実施により、森林資源の循環利用や公益的機能の維持増進が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：大分県

地域(地区)名：大分西部おおいたせいぶ

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	8,512,014	
	流域貯水便益	1,755,787	
	水質浄化便益	6,431,485	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,330,945	
環境保全便益	炭素固定便益	9,013,254	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	5,095,693	
総 便 益 (B)		35,139,178	
総 費 用 (C)		6,749,429	
費用便益比	$B \div C = \frac{35,139,178}{6,749,429} = 5.21$		



# 森林環境保全整備事業 大分西部地域(大分県)



搬出間伐



人工造林・下刈・付帯施設整備



森林作業道

凡 例	
計画区界	———
事業区域	.....

